



主 编 刘晓华
副主编 刘 艳 王 云 陈 丽
张洪梅 张汝军

标准

标准 日本语常用句型 场景会话

地道表达2000例



世界图书出版公司

标准日本语 常用句型场景会话

地道表达2000例

世界图书出版公司

上海·西安·北京·广州

图书在版编目(CIP)数据

标准日语常用句型场景会话地道表达 2000 例 / 刘晓
华主编. —上海: 上海世界图书出版公司, 2009.3

(标准日语场景会话)

ISBN 978-7-5062-9791-2

I . 标… II . 刘… III . ①日语—句型②日语—口语
IV . H364.3 H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 204098 号

标准日语常用句型 场景会话地道表达 2000 例

刘晓华 主编

上海世界图书出版公司出版发行

上海市尚文路185号B楼

邮政编码 200010

上海华文印刷厂印刷

如有印刷装订质量问题, 请与印刷厂联系

(质检科电话: 021-56889281)

各地新华书店经销

开本: 850 × 1168 1/32 印张: 21.25 字数: 500 000

2009年4月第1版 2009年4月第1次印刷

ISBN 978-7-5062-9791-2/H · 874

ISBN 978-7-88765-481-6 (MP3)

定价: 39.80元 (书+MP3)

<http://www.wpcsh.com.cn>

前言

正确掌握并熟练地运用日语中的句型,是日语学习的重要组成部分。但由于日语句型数量多,接续和活用变化多,而且其中很多意思相近,用法上也有一些交叉的部分,这在很大程度上成为日语学习者对日语句型的准确理解和恰当使用的一大难点。而从日语学习的实用和实战角度来说,目前国内外出版的大量日语句型参考书多是以讲解及例句的形式编写,这对日语学习者如何将日语句型准确地运用于日常交流的实际场景中,恰当、自如地活用日语句型,说一口精彩、地道的日语,也是一个亟待破解的问题。

为了帮助日语学习者解决学习中所碰到的这些难题,使学习者尽快掌握常用句型的基本意义、接续结构、活用规则和基本用法,特别是在特定语境场景下的意义和用法,我们在学习研究国内外相关权威书刊最新成果的基础上,精选了日常交流中使用频率较高的常用句型 500 多个,精心设计并按照“接续结构”、“基本意义与用法”、“地道表达范例”、“活用场景会话”、“拓展表达”、“融会贯通”等版块编写成此书。

本书主要特色如下:

1. 精选句型。本书根据我国日语学习者的特点,从全面、实用的角度出发,把日语句型从功能意念上分为 40 个类别,并对每一类句型按照国际测试的测试级别进行了初级、2 级、1 级的分类,分别与国际测试的 3 级、2 级、1 级相对应。这便于学

习者在使用时能够更好地按照自身的学习程度和学习需要,对日语句型形成较为系统的把握和有针对性地学习。

2. 精解词义。关于每个词条的释义,我们主要参考了多种同类日语原版权威参考书的解释。在“基本意义与用法”版块中,重点讲解每个句型的最基本的和日常交流中最常用的意义和用法;“扩展表达”中则对该句型的难点、重点或相关近义句型的辨析做了全面的解析。对于其他非典型用法的句型也专设了“融会贯通”栏目,给出会话中的使用范例,供学习者参考。而在“地道表达范例”和“活用场景会话”中,则以鲜活的句型应用实例,为学习者理解该句型在特定语境中的意义提供了有效帮助。

3. 精讲用法。语言的功能在于应用和交流。学习日语的根本目的也是如此。这正是本书的侧重点和落脚点。其具体特点主要体现在:精选一组地道表达范例和场景会话,示范该句型的地道表达用法和活用形式,让读者通过实例和实战来领悟该句型的多意和妙用。日语当中会话的场景、说话人的性别、说话人之间的关系直接决定整个会话内容的构造和用语。在“活用场景会话”和“融会贯通”所设定的场景中,都标注了说话人之间的关系、性别,从而使学习者能够在和日本人交流时真正做到“见什么样的人,说什么样话”。在“拓展表达”中,重点通过活用类型及其变化等对相应的近义句型做用法上的辨析;而对于有些很难区分的近义句型,主要以例句来说明何时可以替换,何时不可以替换,从而明确区分出其在不同场景、不同语境下的不同用法。

4. 精练会话。本书融日语句型的语义、语境、语用于一体,以语言交际的口语表达为主线,突出语言学习的情景模拟和交际功能训练,精心设计和编写地道表达范例和实用场景会话,把语法学习和口语训练相结合,变传统单纯、枯燥乏味的语法学习为生动、有趣和实用的实战训练,在场景中更深地理解和掌握词义

及其用法，通过活用场景会话提升学习者掌握和灵活运用日语语法的水平，有效提高口语表达能力，实现说一口流利、地道、精彩的日语的学习目标。

本书专门为大专院校日语专业在校生以及广大日语学习者和使用者编写。以准确、实用、功能性强为编写宗旨。为实现这一宗旨，在本书构思设计和编写过程中，得到了日本友人及日本专家的大力支持和协助，并对本书地道表达例句、活用场景会话的日文部分进行了审定和精心修改。值此本书出版之际，编者谨向他们表示最诚挚的谢意！

编者

2009年元月

目 录

第一章 時間関係

I. 時間関係	1
～とき	1
～間 (は)・～間に	3
～たばかりです	5
～るところです・～ているところです・～たところです	6
II. 時間的同时性	8
～ながら	8
～たとたん (に)	9
～ (か) と思うと・～ (か) と思ったら	10
～か～ない (かの) うちに	11
～次第	13
～つつ	14
～が早いか	14
～や・～や否や	16
～なり	17
～そばから	18
III. 時間的前後関係	19
～前に	19
～後で・～後	20
～てから	21

～てはじめて	23
～上で・～上の	24
～て以来	25
～てからでないと・～てからでなければ	27
～うちに・～ないうちに	28
～に先立って・～に先立つ	29
～てからというもの	30

第二章 並列・経験

I. 並列	32
～たり～たりします (です)	32
～も～も	36
～も～し～も	37
～も～ば～も・～も～なら～も	38
II. 経験	39
～たことがある	39
～ることがあります・～ないことがあります	40
～たっけ	42

第三章 希望・感嘆・願望

～がほしい	43
～たい (です/と思います)	44
～といいです・～たらいいです・～ばいいです	45
～てほしいです・～ないでほしいです	47
～ことに (は)	48
～ことだ	49
～ことか・～だろう・～ことだろう	50
～ものだ	51
～たものだ	54

～たいものだ	55
～ないものか	56
～ものがある	57
～とは (思ってもみなかった / 予想されなかった)	58

第四章 比較・対比

I. 比較	60
～は～より	60
～と～と (では) どちら	61
～より～のほうが	62
～は～ほど～ない	64
～の中で～が一番	65
～すぎます	66
～に比べて / 比べ	67
～ほど / くらい～はない	68
～にかぎる	69
～にもまして	70
II. 対比	71
～は～が～は	71
～う (よう) か～まいか	72
～どころか	73
～一方 (で)	75
～に対して	76
～に反して・～に反する・～に反し	77
～反面・半面	79
～というより (むしろ)	81
～かわりに	82
～にかわって・～にかわり	84
～ないまでも	85
～にひきかえ	86

第五章 手段・媒介

～によって・～による	88
～によると・～によれば	90
～を通じて・～を通して	91
～をもって	92

第六章 原因・理由

I 原因・理由 (1)

～から	94
～ので	95
～し～し	97
～て・～で・～なくて	98
～ため (に)	99
～によって・～による	100
～から・～ことから・～ところから	102
～からこそ	103
～につき	105
～こととて	105
～とあって	106
～ゆえ (に)・～ゆえの	107

II 原因・理由 (2)

～おかげで・～おかげか・～おかげだ	109
～せいで・～せいか・～せいだ	110
～ものだから・～もので・～もの	111
～ばかりに	112
～だけに・～だけの (ことはある)	113
～だけあって	115
～あまり・あまりの～に	117
～からこそ	118

III 原因・理由 (3)	119
~以上 (は)	119
~上は	121
~からは・~からには	122
~ことだから・~ことだ	123
~ところをみると	124
~ではあるまいし / じゃあるまいし	125

第七章 逆接・譲歩

~のに	127
~ながら	129
~くせに・~くせして	131
~つつ (も)	132
~ものの	133
~とはいふものの	134
~にもかかわらず	135
~にしても / しろ / せよ	137
~といっても	138
~からといって / からとて / からって	139
~といえども	141
~とはいえ	142
~ながらも	143
~ところを	145
~ものを	147
~ (か) と思いきや	149

第八章 可能・難易

~ことができる / ができる	151
可能動詞	154

～やすい / にくい	157
～わけにはいかない	158
～かねる	159
～ようがない / ようもない	160
～得る / 得ない	161
～がたい	163
～(よ) うにも～ない	164
～にかたくない	165
～に足る / に足りない	166
～にたえる / にたえない	166

第九章 依頼・命令

～をください	169
～てください / しないでください	170
～(さ) せてください	172
～てもらえるか	173
動詞の命令形	174
～な	175
～なさい	176

第十章 勧誘・申し出

～(よ) う / ましょう	178
～(よ) うか / ましょうか	179
～ないか / ませんか	181
～う (よう) ではないか	183

第十一章 提案・勧め

～たほうがいい / ないほうがいい	185
～たらどうか	186

疑問詞＋～たらいいか / 疑問詞＋～ばいいですか	187
～といい / たらいい / ばいい	188

第十二章 許可・禁止・義務・不必要

～でもいい / てもかまわない / でもいい / でもかまわない	190
～なくてもいい / なくてもかまわない	194
～てはいけない / ではないけない	196
～なければならない / なければいけない / なければだめだ / なくてはならない	197
～ことだ	198
～こと	200
～ものだ / ものではない	201
～ことはない	202
～べき / べきだ / べきではない	203
～べからず	205

第十三章 変化・進行・相関関係

I. 変化	206
～なる	206
～する	207
～ようになる	208
～てくる / ていく	209
II. 進行	212
～一方だ	212
～ばかりだ	213
～つつある	214
III. 相関関係	215
～ば～ほど / ～なら～ほど / ～ほど	215
～につれて	216

～にしたがって	218
～に伴って	219
～とともに	220

第十四章 伝聞・推量

I. 伝聞	222
～そうだ	222
～ということだ / とのこと (だ)	224
～とか	225
～由	226
II. 推量	227
～だろう	227
～だろうと思う	229
～かもしれない	230
～らしい	232
～ようだ	233
～はずだ	234
～はずがない	237
～まい	238
～ではあるまいか	239
～恐れがある	240
～かねない	241
～に違いない	242
～に相違ない	243
～とみえて / とみえる	244

第十五章 引用・説明

I. 引用	246
「～」と (言う) / ～と (言う)	246

～ように (と) (言う)	247
命令形と (言う) / 禁止形と (言う)	249
II. 説明	250
～という～	250
～のだ	252
～のは～だ	253

第十六章 条件

～たら	255
～ば・～なら (ば)	256
～と	258
～たら	260
～ても・～でも	262
～なら	264
V ると～た・V たら～た	266
V ると	268
～ば～ (のに)・～たら～ (のに)・～と～ (のに)	269
～さえ～ば	271
～としたら・～とすれば・～とすると	272
～ないことには	274
～ものなら	276
～をぬきにしては	277
～う (よう) ものなら	279
～ないかぎり	281
～が最後・～たら最後	282
～なくして (は)	284
～とあれば	285

第十七章 逆接假定条件

たとえ～ても	287
--------------	-----

～たところで	288
～としても・～にしても	290
～にしよ・～にせよ	292
～といえども	293
～であれ	294
～う(よう)が・～う(よう)と(も)	295
～う(よう)が～まいが・～う(よう)と～まいと	296

第十八章 授受関係

Nをあげます・Nをさしあげます・Nをやります	298
Nをもらいます・Nをいただきます	299
Nをくれます・Nをくださいます	300
Vてあげます・Vてさしあげます・Vてやります	301
Vてもらいます・Vていただきます	302
Vてくれます・Vてくださいます	304

第十九章 使役表現

V(さ) せます(強制)	306
V(さ) せます(許可・恩恵)	307
V(さ) せます(誘発)	309
V(さ) せてもらえますか・V(さ) せていただけますか・	
V(さ) せてくれますか・V(さ) せてくださいますか	310

第二十章 受身・使役受身表現

V(ら) れます(基本的な受け身)	312
V(ら) れます(持ち主の受け身)	314
V(ら) れます(被害の受け身)	315
V(ら) れます(非情の受け身)	316
V(さ) せら) れます(使役受身)	317

第二十一章 意志表現・決定

I 意志	319
V よう	319
V ようと思います	320
V りつもりです・V ないつもりです	321
V ようとします	323
V るようにします・V ないようにします	325
V ようとしません	326
II 決定	328
N にします・N になります	328
V ることにします・V ないことにします	329
V ることになります・V ないことになります	331

第二十二章 様子・状態・傾向

I 様子	333
V ています	333
V てあります	334
～ほど・～ほどの・～ほどだ	335
～くらい・～くらいの・～くらいだ	336
～かのように・～かのようにだ	338
～げ	339
～ともなく・～ともなしに	340
～つ～つ	341
～んばかりに・～んばかりの・～んばかりだ	343
～とばかり (に)	345
II 傾向	346
～がちの・～がちだ	346
～っぽい	347
～気味	349